

小岩井 淨 こいわい じゆん 政治学者。明治二十年六月四日長野縣松本生れ、昭和二十四年二月十九日歿（八七七一五九）。第一高等學校を経て、大正十一年東京帝國大學法學部佛法科卒。在學中新人會に加盟。卒業後大阪の辯護士開業。翌年第一次共產黨事件に連坐。昭和六年日本赤色同盟後會大阪地方委員長として檢舉し、獄中から大阪市議會議員に當選。十二年更に檢舉せられ轉向。のち渡支して東亞同文書院教授となる。戦後は名古屋産大教授、愛知大教授歴任。

著書に『労働者と國家』（大正十一年刊）等の他、隨筆集『冬を渡す』（昭和十年四月二十七日ナウカ社）がある。

